

観光における 飲食消費と域内循環

～釧路市の飲食店への実態調査を通じて～

釧路公立大学 下山ゼミA班

後藤成美 高橋遥 飛内望里

和田聖雅 小林芹奈

プレゼンテーションの流れ

1. はじめに
2. 釧路市の観光の現状
3. 先行研究、研究対象
4. 飲食店の実態調査
5. 分析
6. まとめと政策提言

1. はじめに

観光産業とは、**運輸**、**宿泊**、**飲食**、**物販**、**娯楽・レジャー**など
広範囲な産業からなる複合産業である。

角本 伸晃著 「観光による地域活性化の経済分析」より引用



観光産業は様々な波及効果・雇用効果をもたらすため地域経済活性化に有効な手段！



北海道の観光による経済効果（H23）は
生産波及効果：1兆8,237億円
雇用効果：16.4万人

図1

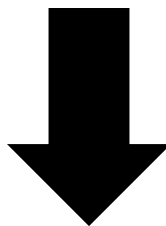
<地域活性化に求められていること>

全国市町会議において安倍総理は、魅力あふれる地域をつくるためには、「**地域ごとに工夫を凝らし、地方が自らの発想で特色を持った地域づくり**」を行っていくことがきわめて重要」とコメント

全国市町会議における安倍総理のコメント
(平成25年6月5日)より引用

石破地方創生担当大臣が地方創生関連法案を成立した時に地域活性化について「地方が**自ら考え、責任を持って取り組むこと**が重要です」とコメント

地方創生関連2法案成立に伴う石破大臣のコメント
(平成26年11月21日)より引用



地域の特色を生かし、自立的な地域活性化が求められている！！

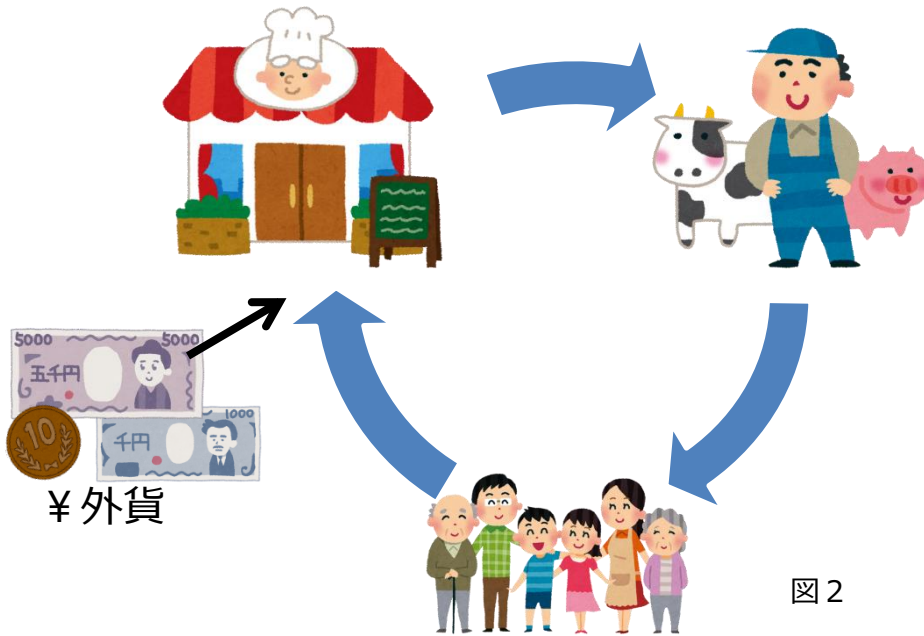
※地域活性化・・・地域の総所得を増加させること

自立的に地域の総所得を増やすにはどうしたらいいのか？

<自立的に地域の所得を増加させるためには？>

「1つは自らが域外マネーを獲得することであり、もう一つは域内で所得を生み出すということになる。地域外から獲得した資金（外貨）をいかに**地域で循環させるか**

中村良平著「街づくり構造改革」より引用



なぜ外貨を地域で循環させることが大事なのでしょうか？



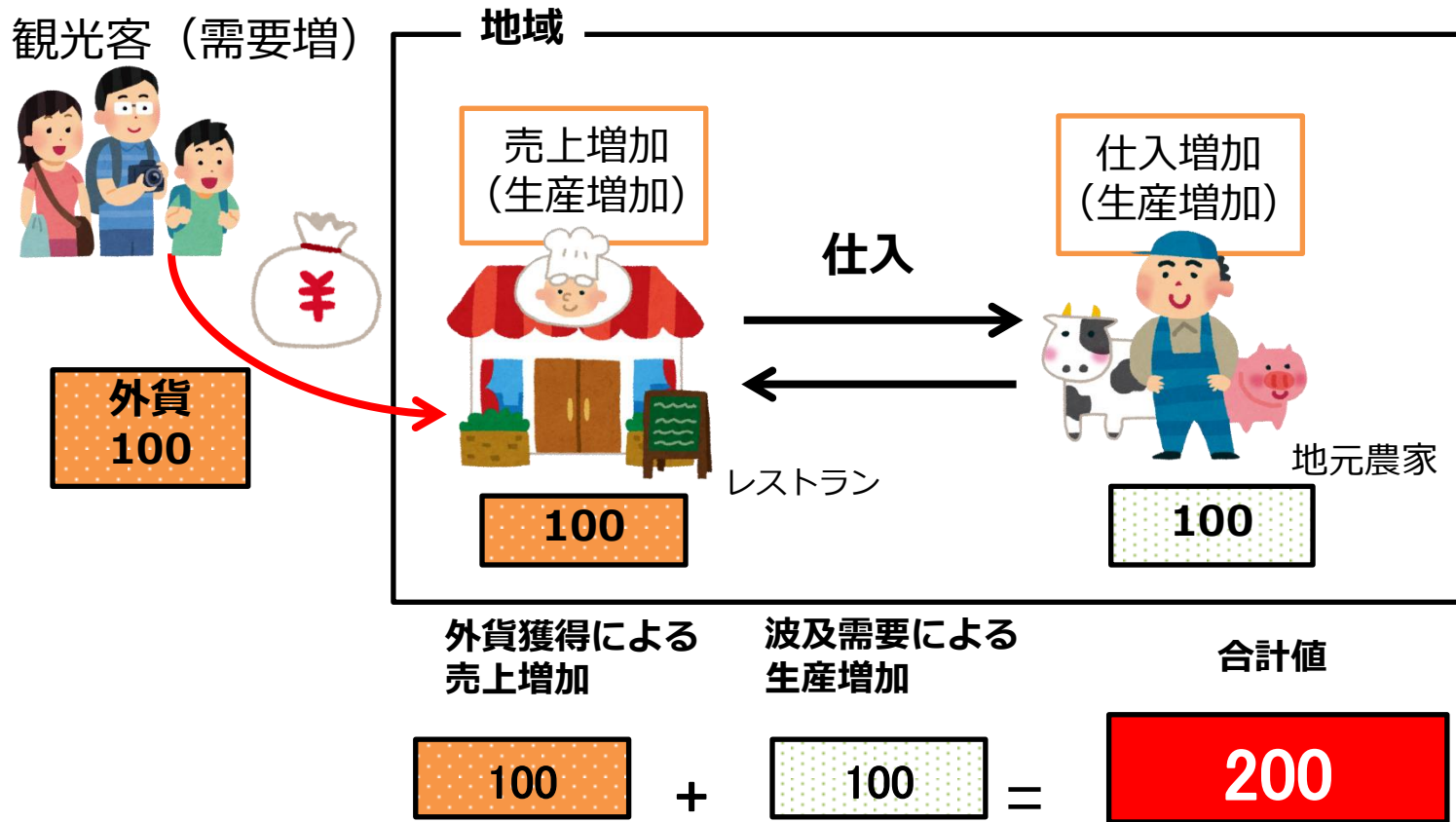
乗数効果によって
地域の総所得が増大するから！！

外貨の獲得によって**地域の所得が増加**

乗数効果とは

需要の増大が生産増大と所得増大を生み出し、これがつぎつぎに派生需要を生み出し、その結果、経済全体の需要・生産・所得が雪だるま式に増えていくプロセスを乗数プロセスと呼びます。

<乗数効果とは①>



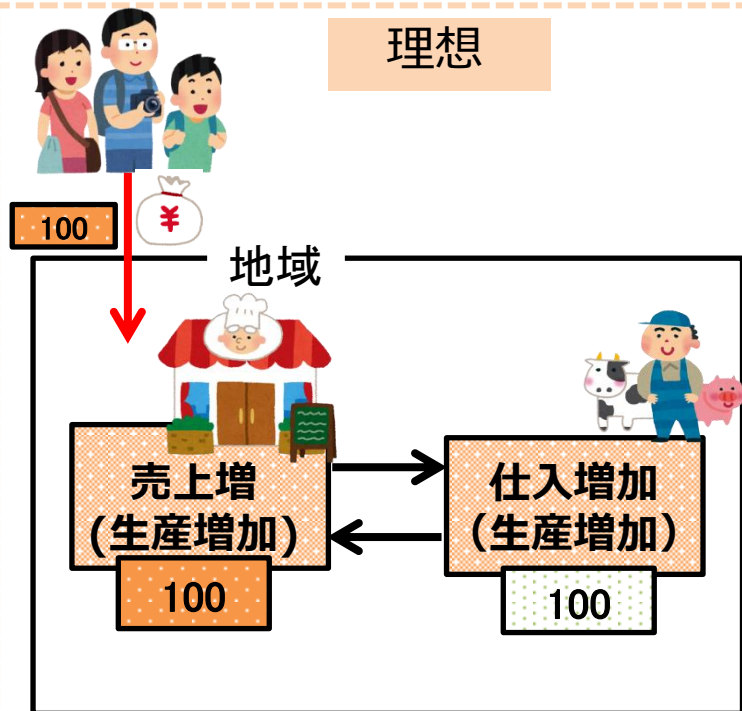
一度の循環だけを考えてみると、需要の拡大（100）が乗数効果によって、地域経済で（200）の価値に増加した。



獲得した外貨を地域で循環させることが大事！！

<乗数効果とは②>

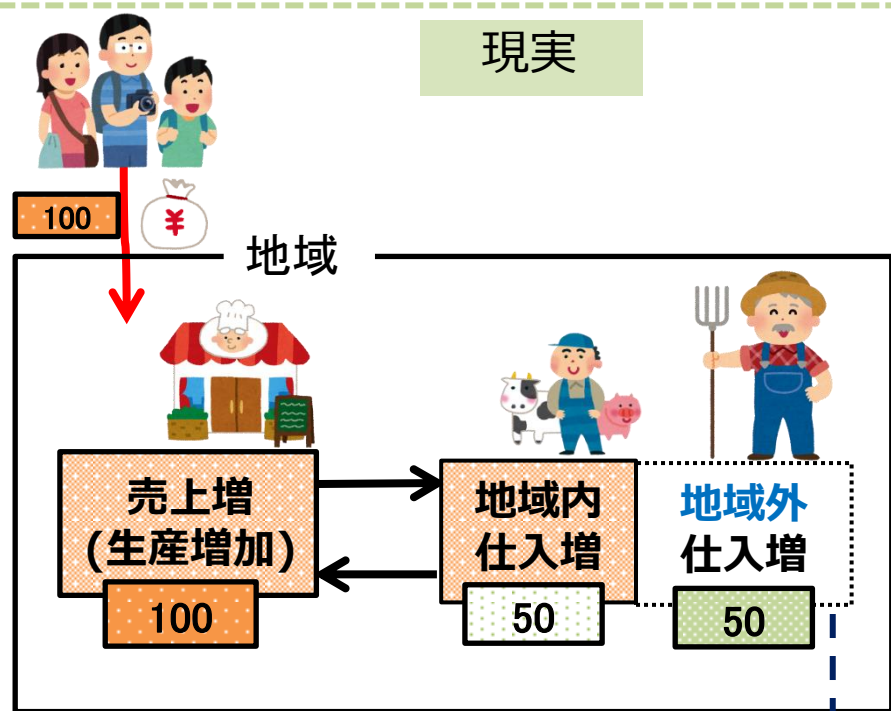
理想




$$100 + 100 = 200$$

外貨獲得 波及効果 合計値

現実





地域外への漏出

$$100 + 50 = 150$$

外貨獲得 波及効果 合計値

地域外仕入増

漏出が地域活性化を阻害している！

図4

➡ **自立的な地域活性化を目指すには漏出に注目し
実態を明らかにする必要がある！**

2. 釧路市の観光の現状

近年、観光において **飲食**が重要視される傾向にある！

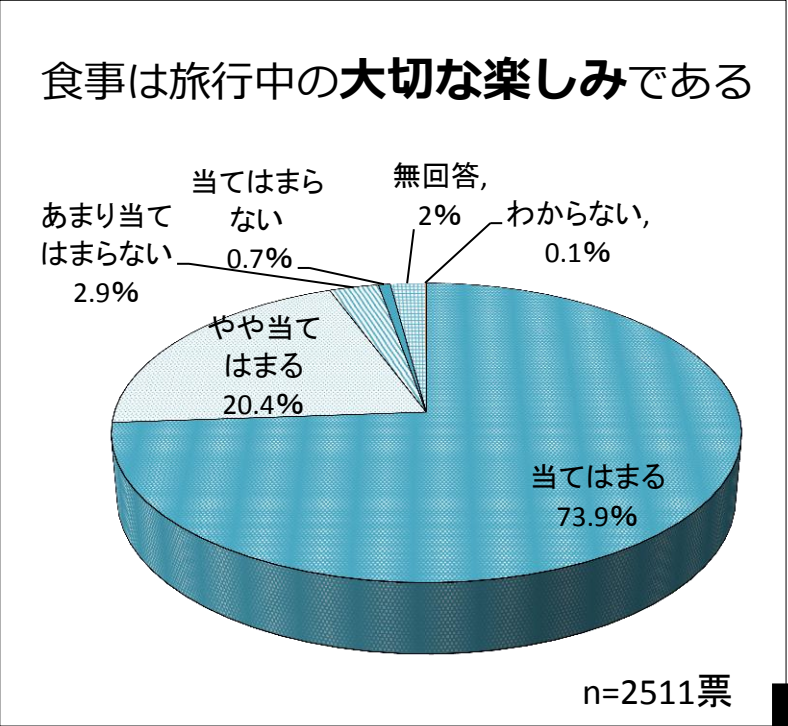


図5

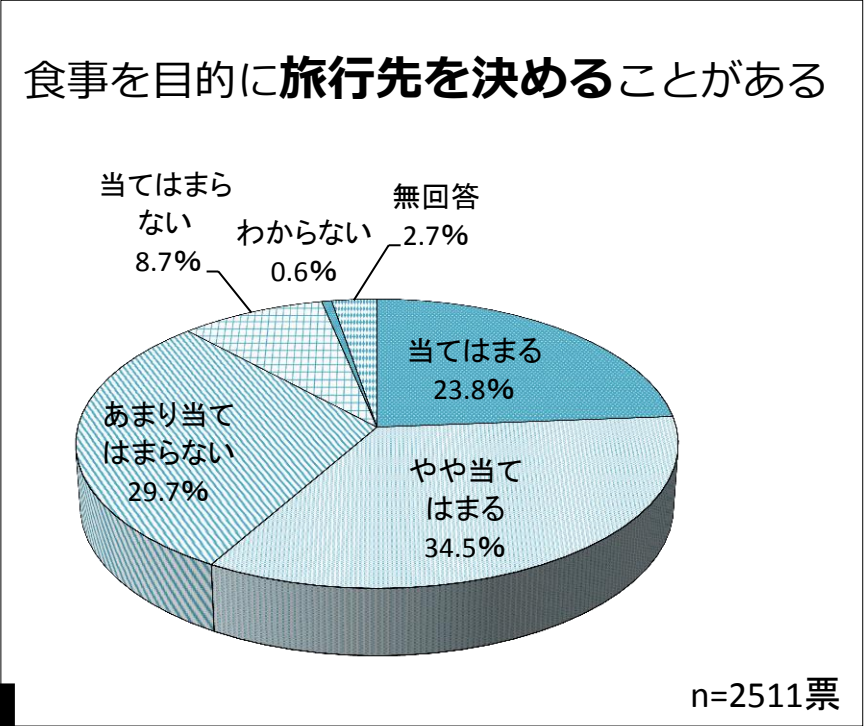


図6

2006年 JTBF 旅行者動向調査より作成

旅行中の食事を大切にしている観光客は **9割以上**おり、
また **5割以上**の観光客が 食事を旅行先の決定要因にしている！

釧路のイメージを尋ねると・・・



食事が美味しい！
地元産の食材が豊富！
自然が豊か！

第10回 地域ブランド調査2015より

釧路市の情報接触経路	
旅やグルメに関するテレビ番組	21.2%
旅行・観光情報サイト	18.2%
旅行・グルメに関する記事やガイドブック	11.4%
事件やニュース	9.4%
その他メディア	6.3%
ドラマや映画・アニメなど	5.5%
テレビCMや新聞・雑誌の広告	4%
友人や知人・家族から	3.4%

釧路市を**旅行番組**や**グルメ**に関する
テレビ番組やガイドブックで知る人が多い！

表1 第10回 地域ブランド調査2015より作成

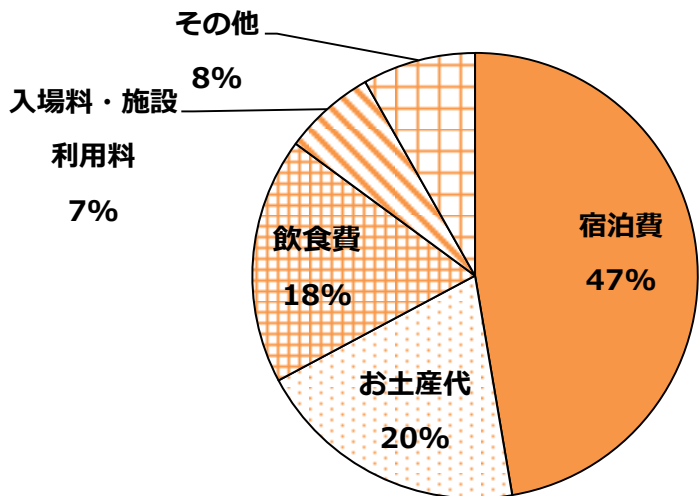
釧路市にくる観光客も**食**を求めてやってきているのでは…？

釧路市の費目別にみた観光消費額を見てみると・・・

釧路市における観光消費は主に

①宿泊費 ②お土産代 ③飲食費 が占める

費目別観光消費額



観光において「食」は重要視されてきている

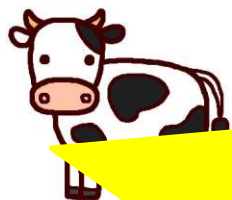


飲食費の割合はこれからもっと
高くなる可能性があり、
地域に与える影響も大きくなっていくはず！

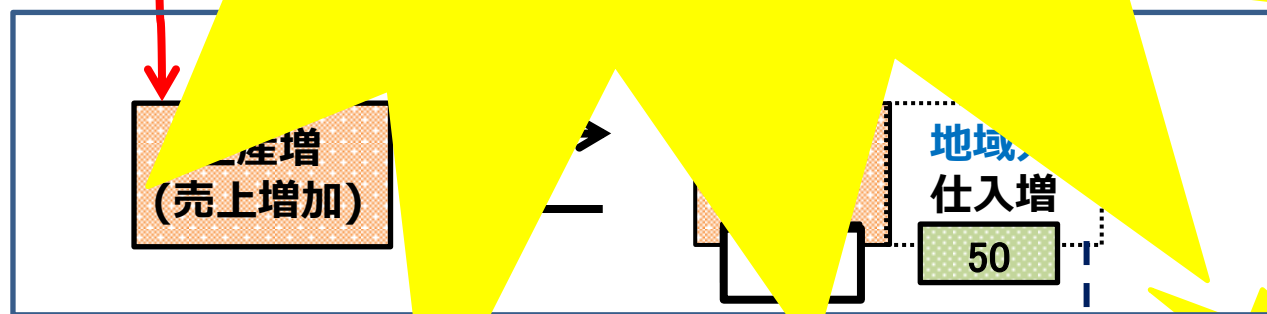
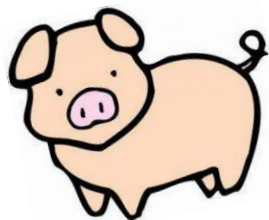
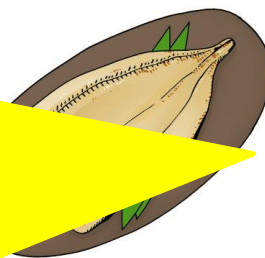
図7 第5回 北海道観光産業経済効果調査報告書（H23）より推計



釧路市内の飲食店で使用されているサンマが・・・



**飲食費についての
実態はまだ明らかに
されていない！**



漏出

地域外
仕入増

釧路の地域活性化の妨げに・・・

問題意識

釧路市の自立的な地域活性化を目指すうえでは
観光消費額のなかでも**飲食費**に
着目しなければならない！

先行研究・研究对象

<観光における先行研究>

観光における先行研究は主に、「消費者行動」 「経済効果」に分かれる！

消費者行動

観光客はどのような理由でお土産・
宿泊・飲食を選択しているのか？

経済効果

観光消費から生じる経済波及効果

自立的な地域を目指すためには、
地域の優位性を生かしながら、
外貨を稼ぎ、域内で循環させる
ことが必要！！

中村良平「街づくり構造改革」より抜粋



今回は、釧路市の飲食における優位性を明らかにするため、
費目を分けた研究を行う！！

<観光に関する論文と私たちの研究の位置づけ>

	消費者行動	経済効果
宿泊	田邊、後藤 (2008) 下山研究室 (2014)	池口 (2015) 釧路公立大学地域経済研究センター (2010)
お土産	鍛冶 (2006) 下畑、三樹、 細野、立花 (2012)	下山研究室 (2014)
飲食	釧路公立大学 地域経済研究センター (2006)	私たちの研究！！

飲食店の実態調査

<飲食店の実態調査>

■調査目的

釧路市内（駅・末広周辺）の**飲食店の地元産比率**を
明らかにするため**実態調査**を行う！

※地元産：釧路市・釧路町・厚岸町・白糠町・鶴居村・弟子屈町・標茶町・浜中町

<地元産比率をどう調べるか？>

飲食店で提供される料理のうち、
食材をどの程度地元から仕入れているのか調査。

飲食店での仕入れ段階の**漏出**を把握する！

<どうして実態調査をするのか？>

今まで釧路市の飲食店を対象にした研究はされておらず、
飲食店で使用されている食材に関するデータが明らかになっていない！

自分たちで実際に行って実態を調査する必要がある！

■ 調査概要

調査日時：10月29日～11月30日の1ヶ月間

調査対象：釧路市栄町、錦町、幸町、黒金町、
北大通、末広町の飲食店341店舗
※バー・スナックを除く

調査方法：アンケート調査・ヒアリング調査



<調査範囲>

<釧路駅・末広周辺の飲食店ジャンル内訳>

居酒屋	131店舗
和食	53店舗
炉端	39店舗
カフェ	29店舗
食堂・レストラン	25店舗
海外料理	23店舗
ラーメン	18店舗
焼肉	14店舗
その他	9店舗

表2



図8

■ 調査内容

①各店舗にアンケート調査を行い、
お店のPR方法や客層等の基本情報の他、
食材の産地を聞きどのくらい地元の食材
を使用しているか調査。



②ヒアリング調査を行い、観光客や地元客の違い、
観光客がどのようなメニューを好み食べているのかを調査。



3 4 1 店舗中 . . .

調査店舗総数 104店舗！

(アンケート配布数：108店舗 回収数：104店舗 回収率：96%)

調査にご協力いただいた皆さん、ありがとうございました！

調査結果

<地元産比率①>

飲食店で使われている食材を
メニューごとに分けて地元産比率を算出

	地元産	道内産	道外産
一品料理	36.6%	29.6%	33.9%
おつまみ	29.5%	31.7%	38.8%
海鮮料理	51.2%	27.1%	21.8%
肉料理	28.2%	37.5%	34.3%
串焼き	29.8%	35.1%	35.1%
ご飯・麺類	14.1%	49.0%	36.9%
サラダ	37.3%	39.4%	23.3%
デザート	16.8%	27.6%	55.5%
飲料	15.0%	22.8%	62.3%

表3

海鮮料理の地元産比率が
高くなっており、
ご飯・麺、飲料の
地元産比率が**低**い！！

お店の人の声



地元の食材を使いたいけど季節などにより安定的に提供できない…
地元の食材は仕入れ額が高い…

しかし、**お客さんは地元の食材を使うと喜んでくれる！！**

<地元産比率②>

飲食店で使われている食材を

①農産物 ②畜産物 ③海産物 ④飲料に分けて地元産比率を算出

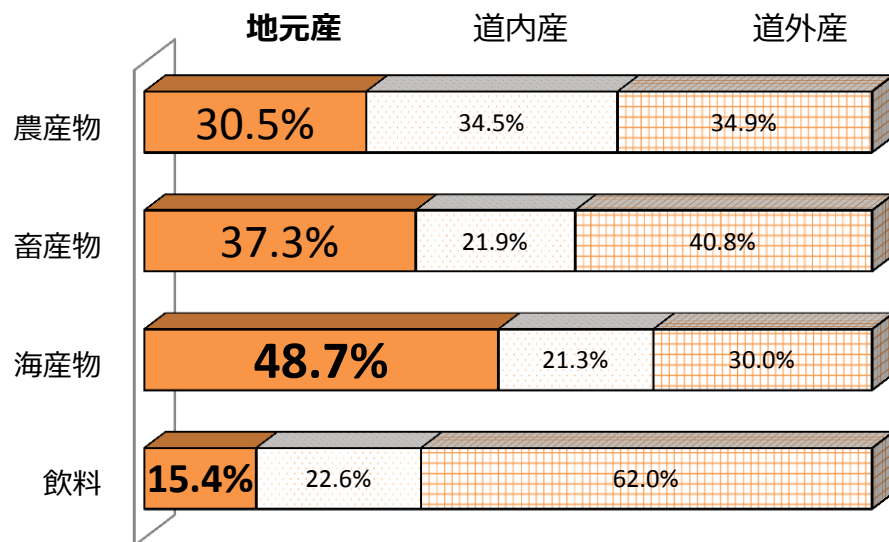


図9

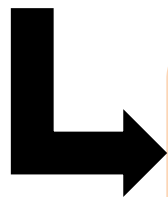
[内訳]

農産物：野菜・米・小麦など

畜産物：肉・卵・乳製品など

海産物：魚・貝など

飲料：お酒・ソフトドリンク



やはり、海産物の地元産比率が高く、
飲料の地元産比率が低い！



さらに客層と地元産比率を用いて釧路市の飲食店の特徴をみてみると…

	地元客主体の飲食店	観光客主体の飲食店
	観光客0%~49%の飲食店	観光客50%~100%の飲食店
農産物	26.6%	34.2%
畜産物	24.6%	49.7%
海産物	35.7%	60.9%
飲料	13.8%	18.9%

表 4

観光客主体の飲食店のほうが地元産比率が高い！！

<アンケート調査まとめ>

1. 飲食店における地元産比率は、海産物が高く、飲料が低い。
2. 観光客が多い飲食店は、地元産比率が高い傾向にある！

➡ 観光客は地元産食材を求めてきている可能性がある

この調査結果から、以下2つの分析を行いました！！

- I. 飲食店は地元産食材を求めている観光客にアピールできているのか？
- II. 地元産比率をあげることによる経済効果はどのくらいあるのか？



5. 分析

< I . 飲食店は地元食材を求めている観光客にアピールできているのか？ >

お店にあるメニュー表をみせてもらい、
1品1品、産地表記があるかどうか調べてみると…

釧路名物

つぶ焼き
540円
[税込583円]




香ばしく焼けた醤油の
匂いがたまりません。



本物のししゃもは北海道の道東でしか獲れません。釧路は日本一のししゃもの産地です。子持ちししゃものプチプチの卵がまた格別です

【釧路産】ししゃも
(オス・メス各2尾)
670円 [税込723円]

肉厚ほっけ焼き
(半身)**910円**
[税込982円]
(1枚)1,980円
[税込2,138円]



ホエー仕込み **【釧路産】**
塩さば
(半身)650円 [税込702円]
(1枚)1,300円 [税込1,404円]

ある店舗のメニューを一部抜粋

<調査結果>

地元産表記

216/5893品

3.7%

道内産

地元産比率が高かった海鮮料理でさえ、
地元産表記はわずか**9.7%**!!!

無表記

5727/5893品

96.3%

メニュー調査店舗数：86店舗中

※飲料は除く

産地無表記のメニューが圧倒的！！
観光客に向けた地元産食材のアピールが出来ていない！！

<Ⅱ. 地元産比率を上げることによる経済効果>

地元産比率が高い飲食店ほど観光客が多く集まる
→すべての飲食店でその比率まで上げると・・・

釧路地域で作られた食材を使用することで

	全飲食店 平均地元産比率	→	観光客主体の飲食店 平均地元産比率
農産物	30.5%	→	34.2%
畜産物	37.3%	→	49.7%
海産物	48.7%	→	60.9%

**農産物・畜産物・海産物の地元産比率があがると
7億3200万円の需要がUP！！**

<推計結果>

地元産比率が
農産物**34.2%**、畜産物が**49.7%**、海産物が**60.9%**になった場合、



経済効果…**18億8600万円**

釧路地域に**15万6000人**の
観光客数が訪れたのと同等の経済効果！！

※平成26年の釧路市に訪れた観光客数 391万7900人

平成17年 北海道内地域間産業連関表
65部門 釧路・根室地域取引基本表
65部門 釧路・根室地域投入係数表
65部門 釧路・根室地域逆行列係数表を用いて分析

6. まとめと 政策提言

まとめ

- ・ 釧路市の飲食店では、**農産物69%、畜産物63%、海産物51%、飲料85%の漏出**が起きている。
- ・ 地元産比率を上げることで**18億8600万円**の経済効果がうまれる。
- ・ 飲食店は、観光客に対して**地元産食材のアピール**があまりできていない！

<政策提言>



DINNER PASSPORT

～釧路の味を堪能しよう～

釧路の
堪能

釧
メ



グ調査より

こと

<今後の研究課題>

- ・ 飲食費の漏出の実態は今回の調査で初めて明らかになった。この結果を他地域と比較しどのような違いがみられるのか？
- ・ 実際にどの食材がどれほど地元産比率をあげることができるのか？
- ・ 旬の食材を効果的に売るための方法はどのようなものが考えられるのか？



参考文献

- 伊藤元重 (2002) 「マクロ経済学」
角本伸晃 (2011) 「観光による地域活性化の経済分析」
中村良平 (2014) 「街づくり構造改革」
鍛冶博之 (2006) 「観光学のなかの土産物研究」
下畑光夫、三樹弘之、細野直恒、立花茂生
(2012) 「観光地での土産購入における購入率と行動指針の分析」
下山研究室 (2014) 「宿泊施設のユーザーレビューから見る旅行客の満足度と観光産業の関連性
～おもてなしが与えるリピーターへの影響～」
(2014) 「根室地域におけるお土産購入行動～道の駅の実態調査を通じて～」
田邊亘、後藤正幸 (2008) 「宿泊施設の戦略構築を支援するユーザーレビュー分析に関する一考察」
釧路公立大学地域経済研究センター
(2006) 「地域観光の地域自立型産業への展開に向けての研究 (Ⅲ)」
(2010) 「釧路市観光産業の発展に向けての経済効果に関する調査研究」
池口功晃 (2015) 「観光による地域経済効果の分析と検証
—大分日田市および由布市の比較分析を通じて—

データの出所

- 釧路公立大学 地域経済研究センター (2006)
「食との連携による観光産業の展開に向けて」
- 北海道観光産業効果調査委員会
「第5回北海道観光産業経済効果調査報告書」
- ブランド総合研究所
「第10回 地域ブランド調査2015」
- 各飲食店のメニュー表



ご清聴ありがとうございました！！

